

第67回
気仙沼みなとまつり

報 告 書

開催日：平成30年8月4日（土）
8月5日（日）

気仙沼みなとまつり委員会

日本インドネシア国交樹立 60 周年
「第 6 7 回気仙沼みなとまつり」
骨 子

■ 8 月 4 日（土）

○初日：田中前大通り会場（交通規制：午後 4 時 00 分～午後 9 時 00 分）

- ・「オープニングセレモニー」（午後 4 時 30 分～午後 5 時 10 分）
- ・「はまらいんや踊り」（午後 5 時 30 分～午後 8 時 00 分）

田中前地区の大通りを会場として「輪踊り」形式で実施

■ 8 月 5 日（日）

○港町/内湾会場（交通規制：午前 10 時 30 分～午後 9 時 30 分）

- ・「みなとまつりパレード出発式」（午前 11 時 50 分～正午）

- ・「みなとまつりパレード」（正午～午後 3 時 30 分）

港町臨港道路を進行しステージ前で演技披露を行う

- ・「打ちばやし大競演」（午後 5 時 00 分～午後 8 時 30 分）

気仙沼市内その他の太鼓団体による「打ちばやし大競演」を港町臨港道路で実施

- ・海上うんづら 第一部（午後 5 時 00 分～午後 7 時 00 分頃まで）

停船演技（港町岸壁への接岸）「どや節」披露

- 第二部（午後 7 時 15 分～午後 8 時 30 分）

内湾での運航演技

- ・さんま船集魚灯披露（午後 5 時 00 分～午後 8 時 30 分）

協力：第八十一豊清丸

- ・海上打ち上げ花火（午後 8 時 00 分～午後 8 時 30 分）

※港町/内湾会場では、港町臨港道路を進行しステージ付近で演技披露を行うパレードから、打ちばやし大競演に繋げて、海上うんづらと迫力ある演技を魅せる。クライマックスは海上うんづらの運航、打ちばやし大競演、さんま船集魚灯披露、海上打ち上げ花火で盛り上げていく。

※立正佼成会石巻教会気仙沼支部の「大流灯」については、内湾の護岸工事等により安全面の確保が難しい事から今回も演技を見合わせることにする。

1. 特 徴

- (1) 今年のみなとまつりは、これまでの反省点と復興状況を考慮し会場を設定し、かつ、この先のまつりの姿を見据えて、行事ごとの連携を図り、人の流れを作りながら、まつり全体がより一体となるようなプログラム構成で、“港のまつり”のイメージを一層強める事を念頭に、演技する人も見る人もともに「感動・元気」が得られる企画とした。また、気仙沼市とも縁の深いインドネシアとの国交樹立60周年を祝い、これを冠に開催した。

- (2) オープニングセレモニーでは、出席者は国交樹立60周年記念のTシャツを着用し、インドネシア共和国駐日特命全権大使のアリフィン・タスリフ大使をはじめ多くのご来賓に出席いただいた。セレモニーに続いて、インドネシアの高校生による民族舞踊が披露され、第67回気仙沼みなとまつりが開幕した。

- (3) 8月4日(土)の「はまらいんや踊り」には、学校の部、サークル・自治会の部、企業の部から68団体、約3,000名が参加し、本年も田中前大通りを会場に開催。道路使用の都合上、昨年同様の会場スペースであったことから、各参加団体の運行係と協力し、安全かつスムーズな運行を図るも停滞する箇所が見られた。

- (4) 8月5日(日)のパレードは、復興工事の影響により港町臨港道路をコースに、「みなとまつりパレード」とし開催。さらに、行事の連動性を持たせるため、出発時間を正午とした。出発式では来賓紹介のあと、気仙沼市吹奏楽団によるファンファーレで、来賓・主催団体長・実行委員会等がテープカットを行いスタートした。開始後の降雨により一時中断、回復を待つも激しい雨により中止とした。また、港町会場の賑わいを作るため、観光駐車場とその付近の空地に、露店コーナーと協賛行事の会場を設けた。

(5) 昼からの断続的な降雨により「打ちばやし大競演」は中止。海上行事の「海上うんづら」(気仙沼青年会議所)は予定を変更して実施。「さんま船集魚灯披露」(第八十一豊清丸)、「海上打上げ花火」(芳賀火工)は実施。

「海上打上げ花火」は、台船を使用しての尺玉やスターマインのほか、芳賀火工が得意とする水中花火も実施した。

(6) 内湾の復興工事の影響により、今年も立正佼成会石巻教会気仙沼支部による「大流灯」は実施を見合わせた。



第 67 回気仙沼みなとまつりポスター

2. まつり行事内容について

<8月4日(土)>

(1) 第67回気仙沼みなとまつりオープニングセレモニー開催

午後4時30分より開催。出席者は日本インドネシア国交樹立60周年を記念するTシャツを着用した。司会進行は、気仙沼出身のフリーアナウンサーの岩手佳代子さんと気仙沼商工会議所青年部の一色法人さん。

恒例の(一社)気仙沼青年会議所による勇壮な「銀輪太鼓」がオープニングを飾り、みなとまつり委員会会長である菅原市長が挨拶。本年もインドネシア共和国駐日大使館ご一行が来市、アリフィン・タスリフ駐日特命全権大使から祝辞を頂いた。

セレモニーに続き、国交樹立60周年を祝い、インドネシアの高校生による太鼓演奏と踊りが披露され、「第67回気仙沼みなとまつり」が開幕した。



インドネシア民族舞踊が披露された

(2) はまらいんや踊り(参加68団体、約3,000名)

オープニングセレモニーに引き続き、開始予定時間通り午後5時30分よりはまらいんや踊りが開始した。はまらいんや踊りには学校の部、サークル・自治会の部、企業の部から68団体、約3,000名の参加のもと今年も輪踊り形式で実施。

田中前大通り45号線交差点から中谷地交差点を通行止めとし、昨年と同会場(モスバーガー気仙沼店前～東北銀行気仙沼支店前)とした。みなとまつり委員会スタッフと各参加団体運行係により、安全かつスムーズな運行を図るも停滞する箇所が見られた。

バンド演奏は、気仙沼出身のバイソン片山率いるバイソンバンドと、ジャズピアニストの岡本優子さんが迫力のある生演奏を披露した。また、飛び入りで気仙沼出身タレントのマギー審司さんと声優の神谷明さんが出演し会場を沸かせた。

本年も市内小学生17名による掛け声隊が熱唱。また、太鼓11団体が音楽にあわせて演奏。ともに今では踊りにはなくてはならない存在である。途中休憩を挟みながら、参加団体はそれぞれが趣向を凝らした衣装や踊りを披露、参加者も観客もまつりを堪能し、熱気溢れた「はまらいんや踊り」となった。

<8月5日(日)>

(3) みなとまつりパレード（参加 15 団体、約 850 名）

パレードは、昨年より内容を大幅に変更した。コースは、港町臨港道路（みちのく建設工業前から海の市付近まで）に設定。参加団体は、進行しながら、本部前の港町ステージ付近と、海の市付近の 2 箇所にした。約 10 分間の演技を披露することとした。名称も「みなとまつりパレード」として開催した。また、行事の連動性を持たせるため、出発時間を正午とした。

本年のパレードには、日本インドネシア国交樹立 60 周年を祝い、インドネシア民族舞踊団体（駐日インドネシア大使館）も参加した。司会進行は、気仙沼出身のフリーアナウンサーの岩手佳代子さんと（一社）気仙沼青年会議所の廣野一誠さん。

出発に先立ち、午前 11 時 50 分からパレード出発式を港町ステージ前で開催。来賓紹介のあと、会長、実行委員長、主催団体長、インドネシア共和国駐日特命全權大使、来賓等によるテープカットを、気仙沼市吹奏楽団のファンファーレで行ない、パレードがスタートした。

開始から間もなく、2 団体目（駐日インドネシア大使館、気仙沼商工会議所青年部合同インドネシアパレード）行進中に激しい降雨に見舞われた。一時中断をして回復を待ったが、断続的な降雨により実施が不可能と判断し、中止の決定をした。

(4) 打ちばやし大競演（参加 26 団体、約 800 名）

本年も会場を、港町臨港道路（みちのく建設工業前から神輿冷機前）に、市内の和太鼓団体 26 団体、約 800 名の打ち手が 600 基余りの太鼓を並べ太鼓演奏を披露する予定であったが、昼からの断続的な降雨により実施が不可能と判断し、午後 2 時に中止の決定をした。

(5) 『海上うんづら』

（一社）気仙沼青年会議所の「海上うんづら」はみなとまつりの海上行事として大きな存在。

第 1 部は港町岸壁に停船しての「停船演技」を午後 5 時から、第 2 部は港町・内湾を周回しながら演技をする「運航演技」を午後 7 時 15 分から花火終了まで行う、2 部構成で実施の予定であったが、降雨にあわせ落雷の恐れもあったため、午後 7 時 45 分頃に演技の披露を終了した。

(6) 『さんま船集魚灯披露』

午後 5 時から、震災後、ご協力を頂いている、第八十一豊清丸による「さんま船集魚灯」が披露された。雨が降りしきる中ではあったが、会場を、そして復興に向かう気仙沼を集魚灯の明かりで照らし、来場した観客に大きな感動を与えていた。

(7) 『海上打上げ花火』

午後 8 時から、まつりのフィナーレを飾る「海上打上げ花火」が開始。本年は、県内の花火業者である芳賀火工の花火師が、時折強い雨が振る気仙沼の夜空に華麗な花火を打上げた。

「海上打上げ花火」は、オープニングスターメインで開幕。4号玉、5号玉、7号玉、8号玉10号玉（尺玉）の連発打上げと、色と光の美しいジャンボスターメインなどとともに、芳賀火工が得意とする水中花火も行い、約 2,400 発を打ち上げた。

降雨のため、打ちばやし大競演、海上うんづらとのコラボレーションはならなかったが、震災後初めての水中花火は、観客との距離も近く迫力ある打上げとなった。

(8) 『露店コーナー』

港町会場に、みなとまつり委員会としての出店場所（観光駐車場となり空地）を確保し、「露店コーナー」として、15 団体 21 小間が出店。11 時 30 分から開店も昼過ぎからの断続的な降雨により、客足は延びず。午後 8 時 30 分終了。

気仙沼商工会議所青年部による「インドネシア屋台」、気仙沼地域戦略「クルーカードチェックインポート」も出店。

3. 協賛行事などについて

(1) 東京海洋大学「海鷹丸」一般公開

8 月 3 日（金）気仙沼商港岸壁にて、午後 1 時から午後 4 時まで、東京海洋大学の「海鷹丸」が一般公開された。普段は乗船できない特別な機会に、家族連れや船好きな方々などで賑わいを見せていた。

(2) POKEMON with YOU キャラバン 2018

昨年までは、初日の田中前会場で行われていたが、本年は 8 月 5 日（日）港町会場の賑わいと、ポケモンを通じ、子供たちが集い、自然にコミュニケーションが生まれる環境を創り出すことを目的に行われた。正午から午後 7 時までの予定であったが、昼からの降雨により、開始後間もなく終了した。

(3) LIGHT UP NIPPON feat 火付盗賊 ファイアー&ダンスパフォーマンス

震災以降、被災地各地で花火打上げの活動を行っている LIGHT UP NIPPON が、当地での本年の活動をみなとまつりに合わせて実施。全国各地で公演をする「火付盗賊」が、午後 7 時 30 分頃より花火打上げ開始まで、港町ステージ付近でファイアーダンスパフォーマンスを披露した。

4. 人 出

まつり当日の人出は、8 月 4 日（土）が 34,000 人（昨年比 1,000 人増）・5 日（日）が 11,000 人（昨年比 32,000 人減）と、2 日間合計では 45,000 人（昨年比 31,000 人減）。2 日目は雨の影響で、一部行事の中止、変更により客足が伸びなかった。

5. 天 候

◇ 8 月 4 日（土）

初日は、終日晴れで過ごしやすい天候。気温も上がりすぎることなく、良い条件で開催することができた。（最高気温 28.4 度 午後 6 時頃の気温 21.9 度）

◇ 8 月 6 日（日）

2 日目は、昼過ぎから不安定な天気となり、時折晴れ間も見られたが、激しい雨を含む断続的な降雨。（最高気温 27.2 度 午後 6 時頃の気温 23.3 度）

6. シャトルバスほか交通機関の臨時便について

■シャトルバス

気仙沼市内バス会社 3 社に依頼。

8 月 4 日（土）は 5 コース、5 日（日）は 6 コースを運行した。

◎8 月 4 日（土）

①九条小コース

九条小学校 ⇔ 田谷本郷バス停 （利用者 延べ 126 人）

②松岩小学校コース

松岩小学校 ⇔ 南郷バス停 （利用者 延べ 228 人）

③西高校コース

気仙沼西高校 ⇔ 反松公園バス停 (利用者 延べ 134 人)

④千厩・室根コース

千厩駅前 ⇔ 田谷本郷 (利用者 延べ 14 人)

⑤唐桑・小原木コース

中井小学校前 ⇔ 南郷 (利用者 延べ 21 人)

◎8月5日(日)

①九条小コース

九条小学校 ⇔ 海の市 (利用者 延べ 52 人)

②鹿折小コース

鹿折小学校 ⇔ 海の市 (利用者 延べ 59 人)

③松岩小・④条南中コース

松岩小学校 ⇔ 粋活街西口バス停 ⇔ 海の市 (利用者 延べ 97 人)

⑤千厩・室根コース

千厩駅前 ⇔ 海の市 (利用者 延べ 26 人)

⑥唐桑・小原木コース

中井小学校前 ⇔ 海の市 (利用者 延べ 20 人)

■JR 気仙沼線 BRT

8月4日(土)、5日(日)の両日、気仙沼駅発 本吉駅行の臨時便を運行。

◎8月4日(土) / 20:35 発

◎8月5日(日) / 21:35 発

■大島汽船(大島航路)

8月5日(日)に気仙沼発 浦の浜行の臨時便を運行。

◎8月5日(日) 21:00 発/利用者 108 人 21:30 発/利用者 32 人

7. 出 動（2日間の延べ人数・カッコ内は昨年実績）

気仙沼警察署	165人（178人）
気仙沼市交通指導隊	55人（57人）
気仙沼市防犯実働隊	118人（109人）
気仙沼海上保安署	8人（10人）
気仙沼消防署（消防本部含む）	50人（47人）
気仙沼消防団	110人（129人）
気仙沼市役所	372人（372人）
気仙沼市青少年支援センター	18人（18人）
（公社）気仙沼シルバー人材センター	20人（19人）
自主警備臨時職員	0人（3人）
警備艇	9人（12人）
警備部会・警備会社	48人（40人）
気仙沼商工会議所	32人（36人）
早稲田大学学生ボランティア	68人（44人）
合 計	1073人（1074人）

8. 警備・交通規制

交通規制区域について、田中前大通りを会場とした8月4日（土）は、昨年同様、田中前大通り45号線交差点から中谷地交差点までを車両通行禁止、さらにこの区間で交差する市道も1区画分を車両通行禁止とした。そのほかの付近の通行は規制することなく通常通行とし、各所に警備員等を配置し、誘導と混雑の緩和に努めた。

8月5日（日）は、市役所付近をコースとした昨年の交通規制より大幅に変更した。会場をパレード開始の正午から花火終了まで、港町臨港道路に設定したことより、一部区間（中央公民からお魚いちばまでのホテル観用下の道路を、北進のみの片側一車線通行）を除き、午前10時30分から午後9時30分まで、会場付近一帯を車両通行禁止とした。会場近辺の混雑緩和を図り、また、規制区間の車両と人が交差するポイントをはじめ、各所に警備員などを配置し安全に努めた。

港町の岸壁については、海中転落などの危険を防止するため、警備員を配置し進入禁止に努めたが、万が一に備え、救命用浮き輪やハシゴを設置した。

両日とも、まつり会場の警備については、まつり委員会の警備計画のほかに、ボランティアなど独自の人員を配置し警備にあたった。

9. 事 故（カッコ内は昨年の数字）

まつり期間中に会場付近で発生した事故等の件数は以下の通り。

- ・ 人身事故 0 件（0 件）
- ・ 物損事故 0 件（0 件）
- ・ けが人 0 件（0 件）
- ・ 遺失 9 件（12 件）
- ・ 拾得物 20 件（22 件）
- ・ 迷子 3 件（1 件）

気仙沼警察署や気仙沼海上保安署、気仙沼消防署ほか警備に携って頂いた各団体の協力に感謝する。

10. 清 掃

まつり会場内にエコステーションを設置し、本年も学生ボランティアの呼びかけにより、来場者には分別の徹底やゴミの持ち帰りに協力を頂いた。

会場周辺の清掃は8月5日（日）早朝に田中前大通り周辺地区を、8月6日（月）早朝に南町・内湾地区・港町を下記の団体の協力を頂き実施した。

早朝清掃協力者

（公社）気仙沼シルバー人材センター、市民憲章推進協議会気仙沼地区部会、気仙沼海友会、全国海友婦人会気仙沼支部、気仙沼市婦人連絡協議会、清港会、（株）気仙沼商会、（株）小野良組、気仙沼市役所、気仙沼商工会議所

田中前地区や南町地区などまつり会場付近では、近隣にお住まいの方々や事業所の方々が定期的に清掃や草刈などを行っており、ゴミや雑草のないきれいな状態でまつりが実施でき、関係の皆様には感謝する。